

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育内容 (言葉)		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)			
<p>幼稚園教育に示された「幼稚園教育の基本」と「幼児教育において育みたい資質・能力」及び「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の趣旨を踏まえ、領域「言葉」のねらいと内容、内容の取扱いなどの基本的知識・技術を習得する。「話を聞こうとする態度を育み、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ために、子どもの育ちをどのように教師が支え、指導を行う必要があるのか、その意味や役割について理解する。幼稚園教育要領や保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の購読に基づき、それらの指導に関する知識・技能を習得して、指導計画の立案や模擬保育等、実践的な体験を通して、保育改善につながる問題解決能力を身につける。また、視覚教材やICT学習によって、領域「言葉」において幼児が経験していく内容、他領域との関連、小学校教科国語とのつながり、幼稚園教育における評価の意義、保育実践の動向や現代的課題等を理解して、保育構想の向上へと取り組む力を習得する。</p>			

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、子どもの言葉の育ちに関する基礎的な理論を再確認する。そして、修得した知識を活かして事例などを検討・考察する際には、ディスカッションやグループワークを実施する。また、保育の構想や立案、模擬実践（プレゼンテーション）を実施する。これらの事後には振り返りや相互評価を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	「幼稚園教育の基本」と領域「言葉」の位置づけ、児童文化財としての絵本	「幼稚園教育の基本」と領域「言葉」の位置づけについて確認する。児童文化財としての絵本について確認する。	<input type="checkbox"/>
第2回	領域「言葉」のねらいと内容、内容の取扱い、子どもと絵本の関係	領域「言葉」のねらいと内容、内容の取扱いについて確認する。子どもにとって絵本とは何かを考える。	<input type="checkbox"/>
第3回	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」、子どもの言葉の発達（乳児期）と絵本（ブックスタート）	保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領における領域「言葉」について確認する。ブックスタートについて確認する。	<input type="checkbox"/>
第4回	言葉による伝え合いを育む保育の評価と改善、子どもの言葉の発達（乳児期）と絵本	言葉による伝え合いを育む保育の評価と改善について確認する。赤ちゃん本について確認する。	<input type="checkbox"/>
第5回	領域「言葉」と小学校教科国語とのつながり、子どもの言葉の発達（幼児期）と絵本	領域「言葉」と小学校教科国語とのつながりについて確認する。年齢に適した絵本について確認する。	<input type="checkbox"/>
第6回	幼児期における遊びを通した言語活動とその教材	幼児期における遊びを通した言語活動とその教材について確認する。	<input type="checkbox"/>
第7回	子どもの言葉を豊かにす言語活動とその教材	子どもの言葉を豊かにす言語活動とその教材について確認する。	<input type="checkbox"/>
第8回	子どもの言葉を豊かにす言語活動とその保育実践	子どもの言葉を豊かにす言語活動を確し、その保育実践を考える。	<input type="checkbox"/>
第9回	言語活動のICT活用	言語活動のICT活用について確認する。	<input type="checkbox"/>
第10回	領域「言葉」における指導計画の構造とその実際	領域「言葉」における指導計画の構造とその実際について確認する。	<input type="checkbox"/>
第11回	領域「言葉」における指導計画とその評価	領域「言葉」における指導計画とその評価について確認する。	<input type="checkbox"/>
第12回	幼児期における遊びを通した言語活動の指導計画と指導案作成	幼児期における遊びを通した言語活動の指導計画を確認し、指導案（簡易版）を作成する。	<input type="checkbox"/>
第13回	幼児期における遊びを通した言語活動の模擬保育	幼児期における遊びを通した言語活動の模擬保育を考える。	<input type="checkbox"/>

第14回	領域「言葉」をめぐる現代的課題と保育実践	領域「言葉」をめぐる現代的課題とその保育実践を確認する。	<input type="checkbox"/>
第15回	領域「言葉」をめぐる現代的課題に応える保育の構想	領域「言葉」をめぐる現代的課題に応える保育とは何かを考える。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストの予習（2時間）をする。授業後は配布資料や学修内容に基づいてまとめを作成（2時間）する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内の提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	子どもの言葉の育ちや保育における言語活動に関する知識をもち、説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	子どもの豊かな言葉の育ちのために、具体的でふさわしい保育の内容を構想して立案することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマのまとめり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションにおいては積極性や事後の振り返りを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	デザインする保育内容指導演「言葉」※購入の必要はありません。必要な箇所を適宜プリントを配付します。	
2	保育内容 ことば 第3版 ※購入の必要はありません。必要な箇所を適宜プリントを配付します。	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	平成29年告示幼稚園教育要領保育所保育指針幼保連携型認定こども園教育・保育要領〈原本〉(株式会社チャイルド本社)	
2		
3		
4		
5		